

初めて茶摘

みを体験

したよ

五月二日(水)に、三年生約百六十名が、栗林公園内にある茶園で茶摘みを体験しました。

ちょうどこの日は、八十八夜で茶摘みの歌に合わせて、楽しそうに次々と新茶を摘んでいきました。約三十分たらずで、二十キロの新茶でビニール袋はいっぱいになりました。

この新茶は、約4キロのお茶っ葉になり、児童に分配されたり、教室で飲んだりしました。

茶摘みを体験した児童の感想文を紹介します。

「茶摘みは、最初ドキドキしながらお茶の葉っぱを摘みました。プチという音が出ました。そして、次々とプチ、プチ、プチと、どんどん摘んでいきながら、茶摘みって楽しいな、と思っていました。だんだん慣れてきたので、茶摘みの歌を歌いながら摘んでみました。」

どの子も初めての茶摘みを楽しみながら、体験したようです。



自転車教室 開かれる

五月三十日(水) 4年生を対象とした自転車教室を実施しました。あいにくの雨天で、運動場での学習はできなかったのですが、体育館で実施しました。高松市交通安全対策課の三名の方から、自転車の点検の仕方や基本走行について説明を聞いた後、映画を視聴して約一時間の学習を終えました。

学習の概要は、次の通りです。

小冊子「自転車安全教室」を見ながら、実際に自転車をを使って乗車姿勢や日常の点検整備についての詳しい説明を聞きました。

点検整備については、『ブ・タ・ト・チェーン』のキーワードがあり、ブレーキ、タイヤ、ライト、チェーンのそれぞれについての点検が大切であることを知り、発進や停止における手信号は、実技を交えながら練習しました。

映画「ドクターXの自転車安全セミナー」を二十分間視聴しました。横断歩道のないところの渡り方、停車中の車の横を通る時や進路を変える時などの危険について、具体的な場面を通して実感しました。子どもたちは、「うわあつ」とか「あつ」とかの声をあげながら真剣に見聞していました。

今後は、安全な乗り方で事故のないように通行する子どもが増えることと信じています。保護者や地域の皆様の御協力をよろしくお願いたします。

日本水大賞

(奨励賞)

優又賞!

五月三十日(水)に、日本水大賞(水環境を守るために、地域にしっかりと根ざして取り組まれてきた活動をたたえる制度)の授賞式が東京でありました。

栗林小学校は、「大切にしたい! 栗林の水」と題し、総合的な学習で学んだ節水活動と環境保全活動を報告し、「奨励賞」を受賞しました。

本校では、栗つ子学習で四年生が、「ふるさとの水」をテーマに学習しています。

校区には、昔香東川が栗林の町を流れていたため、今もその伏流水がこんこんと湧き出ています。



栗林公園の池の水もこの伏流水を利用してあります。製紙工場、造り酒屋、うどん屋さんにもこの水が活用されています。

この「ふるさとの水」に直接触れ、水環境の変化や水資源の確保についての問題を正しく理解し、環境保全と資源の有効利用を地域社会に呼びかけたりしながら学習を進めています。

これらの子どもたちの活動が評価され、今回の受賞につながりました。

今後も、「ふるさとの水」を守っていくためにも、子どもたちと共に、ふるさと「りつりん」をみつめていこうと思います。



一年生を迎える会

五月十日「ようこそ一年生」と題したふれあい集会在体育館で行われました。六年生は「おぼろ月夜」二年生と四年生は「あいさつ」三年生は、「茶つみ」五年生は、「このほり」の歌や演奏でかわいい一年生を迎えました。緊張気味だった一年生も楽しい時間を過ごすことができました。

